

# 事業系一般廃棄物減量等計画書の書き方

(対象建築物が複数ある場合は、恐れ入りますが第1号様式をコピーしてご提出ください。)

## 1 「建築物の所有者等」及び「事業系一般廃棄物管理責任者」の押印について

- 押印は不要です。

## 2 <建築物の属性>の「主な事業者名」について

- 建築物内のテナントが10所以上存在する場合は、床面積の広い事業所から順に10所記載し、枠外に「他〇所」と記載してください。

## 3 「回収業者等の名称」の記載方法について

- 廃棄物の種類ごとに、その処理方法に応じて記載してください。

処理方法	回収業者等の名称
資源物回収業者が回収している場合	「回収業者名」を記入
収集運搬許可業者に委託して市の処理施設に搬入している場合	「許可業者名」を記入
自ら市の処理施設に搬入している場合	「自己搬入」と記入
市指定の事業所用ごみ袋を使用して、近所のごみステーションに排出している場合	「直営収集」と記入
その他、自ら処理している場合	その処理方法を記入

## 4 重量（発生量、資源化量、処分量）の記載方法について

- kg単位で記載してください。多量の場合は、下2桁を四捨五入して構いません。(例:12,345kg → 12,300kg)
- 新聞紙、段ボール、雑誌等を「古紙類」として一括して処理していることにより、それぞれの重量が分からない場合は、「 } (中括弧)」でくくって記載してください。アルミ缶、スチール缶、びん、ペットボトルの「資源ごみ」についても同様です。
- 資源物回収業者や許可業者に報告を求め、記載してください。不明な場合は、1日当り(又は1週間当り)の廃棄物を実際に計量し推計するか、以下の方法により算出してください。

廃棄物の種類	重量の目安
新聞紙	1紙1ヶ月分で約6kg
段ボール	1㎡10枚で約7kg
雑誌、書類	A4サイズを手のひらの高さ(約20cm)に積み上げて約10kg
紙屑	ごみ袋(45ℓ)一杯で約3kg
厨芥類	ごみ袋(45ℓ)一杯で約10kg
アルミ缶	ごみ袋(45ℓ)一杯で約2kg
スチール缶	ごみ袋(45ℓ)一杯で約5kg
びん	ごみ袋(45ℓ)一杯で約13kg
ペットボトル	ごみ袋(45ℓ)一杯で約1kg
プラスチック製容器包装	ごみ袋(45ℓ)一杯で約1kg
資源ごみ(缶、びん、ペットボトル)混合	ごみ袋(45ℓ)一杯で約3kg

## 5 減量等の具体的方法について

- 項目を選択してください。選択項目以外に取り組んでいる方法があれば、「その他」または<特記事項>の欄に記載してください。

※裏面の記載例を参照してください。

事業系一般廃棄物減量等計画書

(あて先) 長崎市長

建築物の所有者等  
住 所  
事業所名  
氏 名  
電話番号

事業系一般廃棄物管理責任者  
住 所  
事業所名  
役職・氏名  
電話番号

長崎市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第12条第1項の規定により、廃棄物の減量等に関する計画を作成したので提出します。

<建築物の属性>

名 称				建 築 物 の 用 途	事務所	社	m <sup>2</sup>	主 な 事 業 者 名		
所 在 地					店舗	社	m <sup>2</sup>			
所 有 者 名					住民	世帯	m <sup>2</sup>			
竣 工 年 月	年 月	従業者総数	人		その他	所	m <sup>2</sup>			
建築物の規模	地上	階、地下	階、延		共用部分		m <sup>2</sup>			

<前年度（R2年 4月～R3年 3月）実績>

	発生量 (kg/年)	資源化量 (kg/年)	回収業者等の名称	処分量 (kg/年)	資源化率 (%)	現在取り組んでいる 減量等の具体的方法 (該当する番号を○で囲む)
	A	B		A-B	B/A	
1 新聞紙	1,230	1,230	A商店	0	100	1 国際規格 ISO14001 の認証取得 2 廃棄物の発生抑制 ① 両面コピーや裏紙コピーの徹底 ② 使い捨て容器入り弁当の購入抑制 ③ 割り箸の使用抑制（マイ箸の持参） ④ 水筒の持参 ⑤ 自動販売機の撤去 ⑥ その他（ ） ③ 廃棄物の分別徹底 4 生ごみ処理機又は堆肥化容器の導入 5 オフィス町内会による資源物回収 6 グリーン購入 ⑦ その他（新聞の購読数の削減）
2 段ボール	65,400	65,400	A商店	0	100	
3 雑誌	5,550	5,550	A商店	0	100	
4 その他の紙類	33,300	0	自己搬入	33,300	0	
5 厨芥類	123,400	10,000	自社ルートで堆肥化	113,400	8	
6 アルミ缶	78,900	78,900	直営収集	0	100	
7 スチール缶						
8 びん						
9 ペットボトル						
10 その他	830	0	B商店	830	0	
合 計	308,610	161,080		147,530	52	
<特記事項>						

<当年度（R3年 4月～R4年 3月）計画>

	発生量 (kg/年)	資源化量 (kg/年)	回収業者等の名称	処分量 (kg/年)	資源化率 (%)	今後取り組もうとする 減量等の具体的方法 (該当する番号を○で囲む)
	A	B		A-B	B/A	
1 新聞紙	1,000	1,000	A商店	0	100	① 国際規格 ISO14001 の認証取得 2 廃棄物の発生抑制 ① 両面コピーや裏紙コピーの徹底 ② 使い捨て容器入り弁当の購入抑制 ③ 割り箸の使用抑制（マイ箸の持参） ④ 水筒の持参 ⑤ 自動販売機の撤去 ⑥ その他（ ） ③ 廃棄物の分別徹底 4 生ごみ処理機又は堆肥化容器の導入 5 オフィス町内会による資源物回収 ⑥ グリーン購入 7 その他（ ）
2 段ボール	65,000	65,000	A商店	0	100	
3 雑誌	5,000	5,000	A商店	0	100	
4 その他の紙類	33,000	0	自己搬入	33,000	0	
5 厨芥類	120,000	30,000	自社ルートで堆肥化	90,000	25	
6 アルミ缶	40,000	40,000	直営収集	0	100	
7 スチール缶						
8 びん						
9 ペットボトル						
10 その他	750	0	B商店	750	0	
合 計	264,750	141,000		123,750	53	
<特記事項>						
会議資料などは必要部数のみコピーすることとし、OHPやプロジェクターなどを活用する。						

